

HDD/SSD クローン&イレースタンド

AOK-ERASECLONE-U32シリーズ



はじめにお読みください。

安全上の注意を必ず守っていただくよう、お願いします。

お客様や他の人への危害や財産への損害は未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

警告

- 本製品を使用する場合は、ご使用のPCメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- 機器の分解、改造はしないでください。火災、感電の原因になります。
- 煙が出たり、異臭や異音がしたら、コンセントからプラグを抜いてください。
また、その他の製品の異常がありましたら、ご使用をやめ、速やかにサポートまでご連絡ください。
- 電源コード、接続コードの上に物をのせたり、傷つけたり、折り曲げ、押し付け、加工などは火災や感電の原因になりますので行わないでください。
- 電源プラグはコンセントに完全に差し込んでください。ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。
- 本体を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。

注意

- 本製品を分解・修理・加工・改造しないでください。
- 本製品をぬれた手で触らないでください。
- 電源プラグは、OAタップ等からではなくコンセント本体に直接接続してください。また、長期間使用しない場合はコンセントから外してください。
- お手入れの際には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものや、液体は使用しないでください。
- 乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- アクセスランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、PCをリセットしないでください。
- 本製品を、直射日光に当たる場所、高温、多湿となる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、強い磁場、電波、静電気の発生する場所での使用、保管をしないでください。
- 本製品は精密機器ですので、体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤動作や故障、データ損失の原因になります。
- 本製品は精密機械ですので、ホコリ等には十分にご注意ください。誤動作や故障、データ損失の原因になります。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えたり、ピンなどの異物を差し込んだりしないでください。
- 本製品を不安定な場所に設置しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の被害については弊社は一切の責を負わないものとします。
- データの損失、破損による損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

【注意事項】

- 本製品にはHDD/SSDは含まれておりません。
- 本製品は全てのHDD/SSDの動作を保証するものではありません。
- USB3.1 Gen1の機能を使用する場合にはUSB3.1 Gen1 端子搭載のデバイスをご利用ください。
- パッケージおよびマニュアルの記載内容、製品および付属品は、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
- 社名及び製品名は各会社の商標または登録商標です。
- 本製品で保存したデータが、ハードウェア故障、誤動作、その他のどのような理由によって破壊された場合でも、弊社では一切の保証は致しかねます。万が一に備えて重要なデータは予めバックアップをとることをお勧めします。
- 本製品のプラスチック筐体部分はHDD/SSDの抜き差しおよび、その他の原因によって傷が付く場合がございますので、お取扱いは十分注意してください。
- 弊社製品は一般コンシューマ向けに開発、製造しております。一般コンシューマ以外のビジネス、工場、インダストリアル等でのご使用は、製品保証対象外になります。

目次

はじめにお読みください。	2ページ
目次	3ページ
製品構成	4ページ
対応 OS	4ページ
本体各部名称、各機能	4～6ページ
HDD/SSDの接続方法	6ページ
動作モードに関して	7ページ
クローン / イレース方法	8ページ
パソコンと接続	9ページ
接続の確認	9ページ
パソコンからの取り外し	9ページ
HDD/SSDの初期化方法 (Windows)	10～15ページ
HDD/SSDの初期化方法 (macOS)	16～17ページ
ドライブの拡張	18ページ
UASPモードについて	19ページ
ディスク署名の競合	19ページ
USB3.1 Gen1の使用条件	19ページ
製品仕様	20ページ
よくあるご質問 Q&A	20ページ
保証書	21ページ

製品構成

ご使用前に必ずご確認ください。

- 製品本体
- USBケーブル
- AC アダプタ
- USB Type-C変換アダプタ
- マニュアル（本書）

対応 OS

Windows 11/10 / 8.1 / 7 / Mac OS X (10.9 以降)

本体各部名称、各機能

●上面

①HDD2 スロット

クローン時にはクローン先の HDD/SSD を接続します。
イレーズ時にはイレーズする HDD/SSD を接続します。
パソコン接続時に HDD/SSD を接続します。

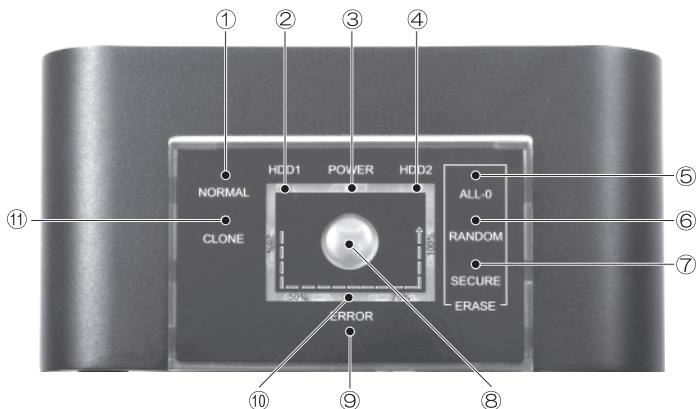
②HDD1 スロット

クローン元の HDD/SSD を接続します。
パソコン接続時に HDD/SSD を接続します。



●前面

- ①NORMAL
パソコン接続モード時に青色LEDが点灯します。
- ②HDD1
HDD1 スロット認識時に青色LEDが点灯し、アクセス時に点滅します。
- ③POWER
本体通電時に点灯します。通常青色LEDが点灯し、パソコン非アクセス時のスリープモード中は赤色LEDが点灯します。
- ④HDD2
HDD2 スロット認識時に青色LEDが点灯し、アクセス時に点滅します。
- ⑤ALL-O
ALL-O イレースモード時に緑色LEDが点灯します。
- ⑥RANDOM
RANDOM レースモード時に緑色LEDが点灯します。
- ⑦SECURE
SECURE レースモード時に緑色LEDが点灯します。
- ⑧クローン / イレース スタートボタン
長押し（5秒以上）すると各機能がスタートします。
- ⑨ERROR
クローンモード動作時に不良セクタを検知した場合に赤色LEDが点滅します。
- ⑩インジケーター
各モード時の進行度を黄色LEDで表示します。作業中は点滅し、終了時には点灯します。
- ⑪CLONE
クローンモード時に緑色LEDが点灯します。



●背面

①USB3.1 (Gen1) コネクタ

付属のUSBケーブルを接続し、パソコンに接続してください。

②PC C/E スイッチ

パソコン接続モードとクローン / イレースモードを切り替えます。

パソコン接続時は「PC」

クローン / イレースモード時は「C/E」

③MODE スイッチ

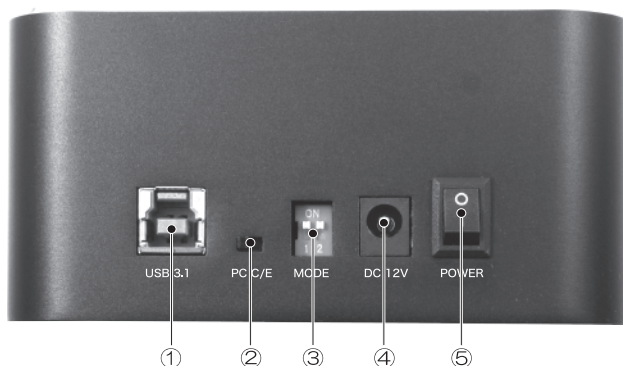
クローン / イレースモードの各モードに切り替えます。

④電源コネクタ (DC 12V)

付属の AC アダプタを接続してください。

⑤電源スイッチ (POWER)

電源の ON/OFF が行えます。



HDD/SSD の接続方法

- コネクタの位置を確認しながら、ゆっくりと垂直に差し込みます。



- 上から見た本体コネクタ部分



動作モードに関して

本製品は下記の動作モードがご利用いただけます。

●CLONE モード

Windows 上のコピーとは異なり、OS 等のシステム領域や、パーティション、未割り当て領域も含め、全ての領域をクローン（複製）できます。

クローン元の HDD/SSD を HDD スロット 1 に、クローン先の HDD/SSD を HDD2 スロットに接続してください。

- ※クローン先とクローン元の HDD/SSD を間違えると、大切なデータが上書きされてしまいますのでご注意ください。
- ※クローン元の HDD/SSD の容量に対して、クローン先の HDD/SSD の容量は同等または、それより大きい必要があります。
- ※同容量の HDD/SSD を使用してクローンする場合は、同メーカー同型番の HDD/SSD の使用を推奨します。（各メーカーにより、容量のは端数値が違う場合があるため。）
- ※「HDD1」スロットに「HDD2」スロットより容量の大きな HDD/SSD を取り付けた場合、「クローンモード」が開始されません。
- ※リカバリー領域等の特殊領域は、クローンできても正常に動作しない可能性があります。
- ※不良セクタ以外の物理的エラーがある場合はクローンできません。
- ※不良セクタによるファイルの破損などは、本製品を使用しても復元できません。
- ※エラースキップを行った場合、ERROR LED が赤く点滅します。

●イレース（抹消）モード

HDD/SSD 内のデータおよびパーティション領域、フォーマット形式等全て抹消されます。

イレースを行う HDD/SSD を HDD2 スロットに接続してください。

・ALL-0 モード

全てのセクターに対して「0」で上書きし、データの完全抹消を行います。mac OS で推奨されている一般的な簡易イレース方式です。

・RANDOM モード

全てのセクターに対して「一つのランダム値」で上書きし、データの完全抹消を行います。「ALL-0 ERASE」と交互に行い組み合わせることでさらに信頼性が向上します。

・SECURE モード

HDD/SSD に対して Secure Erase コマンドを送信し、HDD/SSD の機能でデータの完全抹消を行います。SSD に対しては、データの抹消だけではなく、初期状態に近づけますので SSD をリフレッシュすることができます。

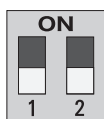
- ※イレースを行う HDD/SSD を間違えると、大切なデータが抹消されてしまいますのでご注意ください。
- ※イレース動作中に電源を OFF にしないでください。
- ※HDD/SSD の状態によってはイレースできない場合があります。
- ※LBA アドレスにてアクセスできない HDD の領域は抹消できません。
- ※イレースモードではエラースキップは行えません。
- ※イレースモード中に HDD/SSD にエラーがあった場合は、動作が停止し、インジケーターが消灯します。
- ※SECURE ERASE は SECURE ERASE 機能をサポートしている HDD/SSD のみで動作し、データ抹消実行処理の内容は HDD/SSD の仕様に依存します。
- ※本製品は SSD/HDD の SECURE ERASE が禁止されている状態（SED 暗号化、SecurityFutureSet が無効の状態など）では SecureErase を実行できません。

クローン / イレース方法

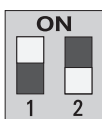
● 本体の使用方法

- ①本体の電源を OFF にして、接続されているケーブルを全て取り外します。
- ②本体背面の「MODE」スイッチを使用したい動作モードに設定します。

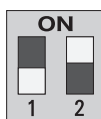
• CLONE
(両方 OFF)



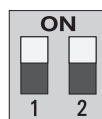
• ALL-O
(1:ON, 2:OFF)



• RANDOM
(1:OFF, 2:ON)



• SECURE
(両方 ON)

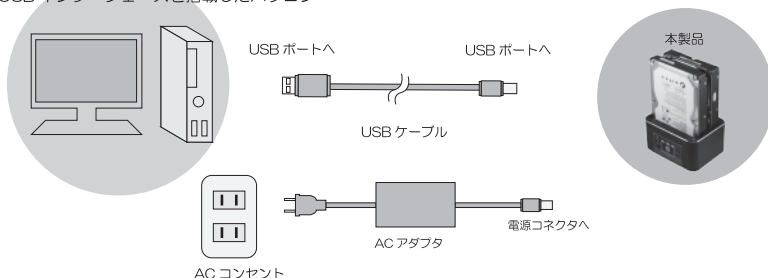


- ③「PC C/E」スイッチを「C/E」側にセットします。
- ④HDD/SSD を指定のスロットに接続します。
※クローン時：クローン元は HDD1 スロット、クローン先は HDD2 スロット
※イレース時：HDD2 スロット
- ⑤付属の AC アダプタを接続し、電源を ON にします。
- ⑥「クローン / イレースボタン」を長押し（5 秒以上）すると、クローン / イレース機能がスタートします。
- ⑦25%のインジケータが点滅します。
インジケータはクローン / イレースの進行度によって点滅 / 点灯します。
※SECURE イレース時のみ、インジケータの 25%～ 100%LED が順番に点滅します。
- ⑧100%のインジケータが点灯しましたら終了です。
電源を OFF にして HDD/SSD を取り外してください。

パソコンと接続

HDD/SSD を接続した本製品をパソコンに接続します。

USB インターフェイスを搭載したパソコン



接続手順

- ①本製品に HDD/SSD を接続します。
- ②付属の AC アダプタをコンセントに接続し、本製品に接続します。
- ③付属の USB ケーブルを本製品とパソコンに接続します。
- ④「PC C/E」スイッチを「PC」側にセットします。
- ⑤本製品の電源をオンにします。

※新しい HDD/SSD を本製品に接続した場合、フォーマットが必要です。

本書のフォーマット方法をご参照ください。

接続の確認

●Windows

スタート→コンピューターでドライブ表示が追加された事を確認してください。

●macOS

デスクトップ上にストレージのアイコンが追加された事を確認してください。

パソコンからの取り外し

●Windows

タスクバー上の USB アイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取外し」を選択し、本製品を取り外してください。

●macOS

デスクトップ上の本製品のアイコンを「ゴミ箱」の方にドラッグすると「ゴミ箱」が「イジェクト」アイコンに変化致しますので、そのままドロップしてください。

HDD/SSD の初期化方法 (Windows)

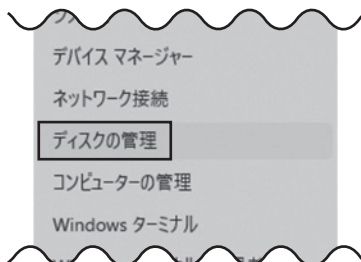
※この説明では HDD/SSD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

パーティションを分割する場合は Windows の説明書や参考書籍などをご使用ください。

●初期化及びフォーマット方法 Windows 11/10/8.1)

※フォーマットを行うと HDD/SSD 内のデータは全て削除されます。

①デスクトップにある「Windows」マーク上で「右クリック」し「ディスクの管理」を選択してください。

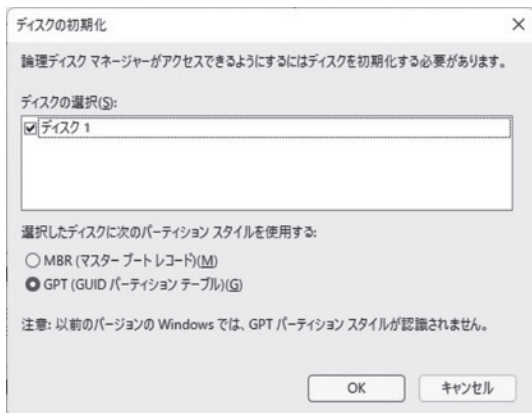


②初期化が行われていないHDD/SSDをパソコンに接続していた場合、「ディスクの管理」を選択した際に、「ディスクの初期化」が表示されます。

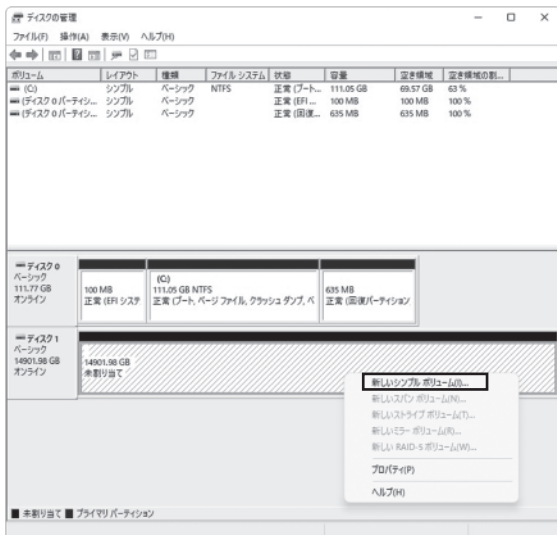
2TB 未満の HDD/SSD を接続している場合は「MBR (マスターブートレコード)」を選択してください。

2TB 以上の HDD/SSD を接続している場合は「GPT (GUID パーティションテーブル)」を選択してください。

設定後に「OK」を選択してください。



- ③ 「ディスク」から「未割り当て」と表示された領域で「右クリック」し、メニューから「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



- ④ 「新しいシンプルボリュームウィザード」が表示されますので、「次へ」を選択してください。



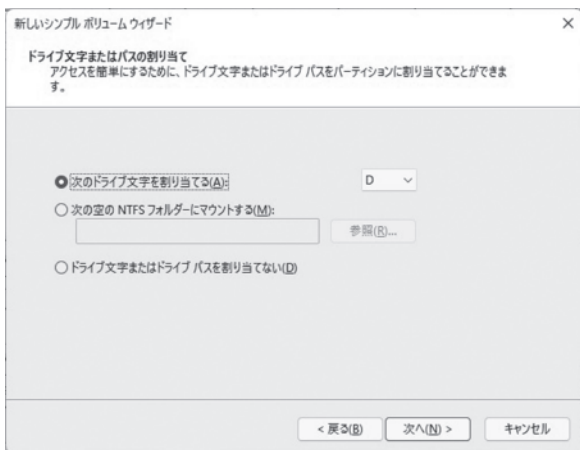
⑤ 「ボリュームサイズの指定」が表示されます。全ての領域をフォーマットする場合は「次へ」を選択してください。

パーティションを分割する場合は「最小ディスク領域」から「最大ディスク領域」までの任意のサイズを「シンプルボリュームサイズ」に指定してから「次へ」を選択してください。



⑥ 「ドライブ文字またはバスの割り当て」が表示されます。指定が無ければ空いている割り当て番号の一番若い番号が表示されていますので、そのまま「次へ」を選択してください。

※「次の空の NTFS フォルダにマウントする」と「ドライブ文字またはドライブバスを割り当てない」は通常使用しませんので選択しないでください。これらの機能を使用する場合は別途 Windows のヘルプや参考書をご参照ください。



- ⑦「パーティションのフォーマット」が表示されます。特別な設定を行う以外はそのまま「次へ」を選択してください。

新しいシンプル ボリューム ウィザード

パーティションのフォーマット
このパーティションにデータを格納するには、最初にパーティションをフォーマットする必要があります。

このボリュームをフォーマットするかどうかを選択してください。フォーマットする場合は、使用する設定を選択してください。

このボリュームをフォーマットしない(N)

このボリュームを次の設定でフォーマットする(O):

ファイル システム(F): NTFS

アロケーション ユニット サイズ(A): 既定値

ボリューム ラベル(L): ボリューム

クイック フォーマットする(E)

ファイルとフォルダの圧縮を有効にする(E)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

※「パーティションのフォーマット」にて設定を変更する場合は下記をご参照ください。

ファイルシステム	NTFS、FAT32、exFATが選択できます。 FAT32では32GB以上の領域をフォーマットできませんので、32GB以上の領域をフォーマットする場合はNTFSでフォーマットを行ってください。 exFATでフォーマットする場合はWindows Vista以前のWindows OSでは正常に認識できなくなる可能性があります。
アロケーション ユニットサイズ	パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で設定してください。
ボリュームラベル	マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。
クイックフォーマット	チェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。 通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域を確認しませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。 クイックフォーマットを行わない場合、ディスクの容量によっては数時間～数十時間かかる場合があります。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
ファイルとフォルダの 圧縮を有効にする	このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。 一部のアプリケーションでは、この設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

- ⑧「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」が表示されます。
 テキストボックス内の設定を確認後に「完了」を選択すると、フォーマットが開始されます。



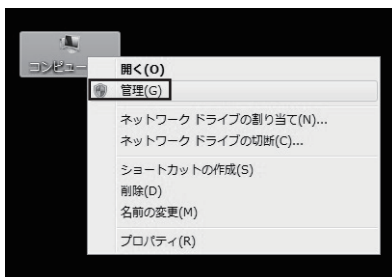
- ⑨フォーマットが開始すると、「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
 進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマットが完了します。
 ※フォーマット中はコンピュータの電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。
- ⑩フォーマットが完了すると「ディスクの管理」に容量が表示されます。
 デバイスとドライブ(ICO)を選択し、ドライブが追加されている事を確認してください。



●ディスクの管理画面の開き方 (Windows 7)

①デスクトップにある「マイコンピュータ」を「右クリック」し「管理」を選択してください。

※マイコンピュータがデスクトップに無い場合は、左下の Windows マークをクリックし、メニューから「コンピュータ」を「右クリック」し「管理」を選択してください。



②コンピュータの管理が表示されますので、「ツリー」から「ディスクの管理」を選択してください。



※ディスクの管理画面の開き方以外の操作方法は Windows 11 / 10 / 8.1 と同じです。

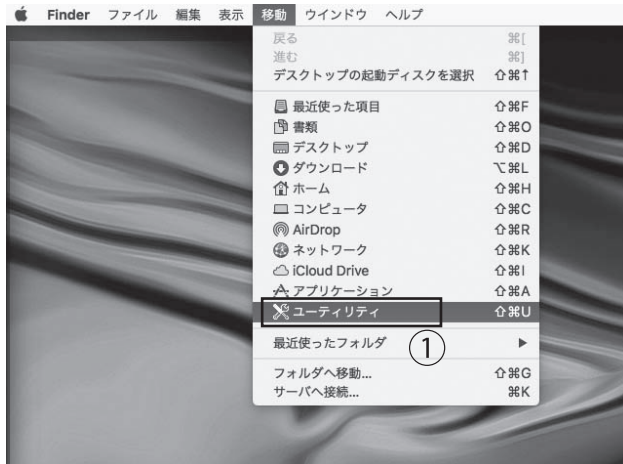
HDD/SSD の初期化方法 (macOS)

※この説明では HDD/SSD にパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作方法を説明しております。

パーティションを分割する場合は macOS の説明書や参考書籍などをご使用ください。

※フォーマットを行うと HDD/SSD 内のデータは全て削除されます。

①デスクトップ上部にある移動タブの中から「ユーティリティ」を選択してください。



②ユーティリティの中から「ディスクユーティリティ」を選択してください。



③フォーマットを行うHDD/SSDを選択してください。

④「消去」を押してください。

⑤フォーマットを選択してください。

●APFS

macOS のみでHDD/SSDを使用する場合は選択してください。

macOS10.13以降のみ使用できるフォーマットです。それ以前のmacOSでは使用できません。

●macOS 拡張 (ジャーナリング)

macOS のみでHDD/SSDを使用する場合は選択してください。

●MS-DOS(FAT)

macOS と Windows でHDD/SSDを使用する場合は選択してください。

1 ファイルで4GBを超えるファイルは使用できません。

●exFAT

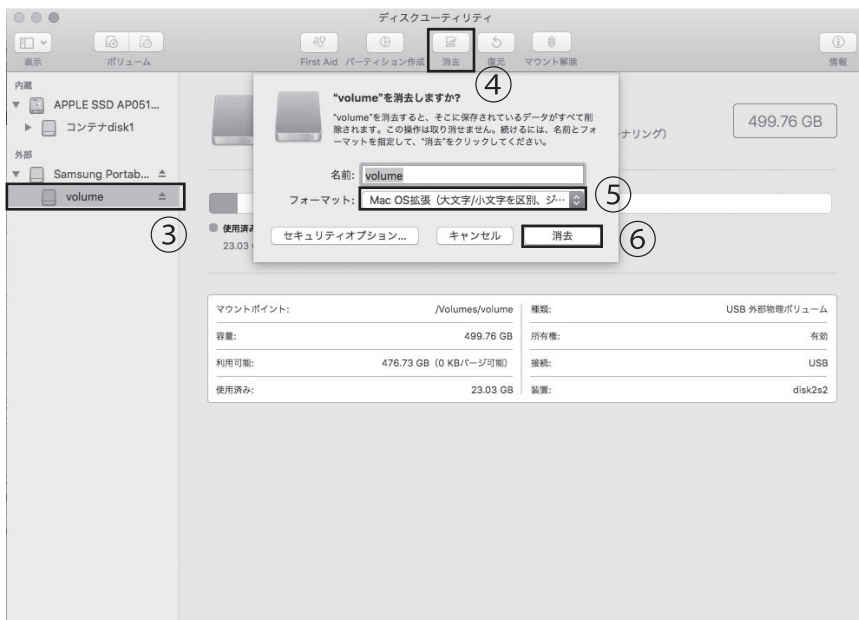
macOS と Windows でHDD/SSDを使用する場合は選択してください。

Windows Vista以前のOSでは認識できません。

※Windows OS と macOS 両方で使用する場合で、「方式」からパーティションマップを変更する場合は、「GUIDパーティションマップ」か「マスター・ブート・レコード」を選択してください。

「Appleパーティションマップ」を選択すると、macOS以外では認識できなくなります。

⑥「消去」を選択するとフォーマットが開始されます。



※操作手順は、macOS 10.13.6の場合です。

ドライブの拡張

●ドライブの拡張について

元のHDD/SSDより、容量の大きいHDD/SSDにクローンを行った場合、以前に使用していた領域以外は、未割り当て領域となります。

未割り当て領域を使用して、既存のドライブ（Cドライブ等）の領域を拡張する事ができます。

※手順を間違えると大切なデータが消えてしまう可能性がありますので、十分に注意して操作を行ってください。

データの消失に関して弊社では一切保証することができませんのでご了承ください。

手順に不明な点がある場合は、Windowsの参考書等をご参照ください。

●ドライブの拡張方法

本項目には、Cドライブを拡張する方法を説明します。

①ディスクの管理の表示

Windows 11/10/8.1の場合：「スタートボタン」上で右クリックし、「ディスクの管理」を左クリックで起動してください。

Windows 7の場合：「コンピューター」上で右クリックし、「管理」を選択してください。

「コンピューターの管理」が表示されますので「ディスクの管理」を選択してください。

②「ディスクの管理」に表示されている拡張したいパーティション上で右クリックしてください。

③「ボリュームの拡張」を左クリックで選択してください。

※「ボリュームの拡張」を行うパーティションが「未割り当て領域」と隣り合わない場合は「ボリュームの拡張」は行えません。

例：「System」「C」「D」「未割り当て」とパーティションが並んでいる場合、「C」を拡張する事はできません。

その場合は「D」に入っているデータを他の場所に移動し（外付けHDD等）、「D」パーティションを削除し、「System」「C」「未割り当て」という順番にパーティションが並んだ状態にしてください。

（「D」パーティションにソフトのインストールデータ等が入っていて移動できない場合はWindowsの機能ではパーティションを拡張できませんので、別途パーティション管理ソフトを使用してください）

④「ボリュームの拡張ウィザード」が表示されますので、「次へ」のボタンを押してください。

⑤「ディスク領域（MB）を選択」欄に任意のサイズを入力し、「次へ」を押してください。

※「D」パーティションを削除し、後にもう一度「D」パーティションの作成を行いたい場合は、「D」パーティション分の容量を残してください。

⑥「ボリュームの拡張ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンを選択してください。

⑦「コンピューター」の管理画面でパーティションが拡張されている事を確認してください。

※「D」パーティションを削除して「C」パーティションを拡張し、もう一度「D」パーティションを作成したい場合は、この操作の後に作成してください。

UASP モードについて

- 本製品を USB3.1 Gen1 UASP モードで使用すると、通常の USB3.1 Gen1 接続で使用する場合に比べて、より高速で使用することができます。

本製品を USB3.1 Gen1 UASP モードで使用する場合、以下の条件を全て満たしている必要があります。

- マザーボードのチップセットが UASP モードに対応している
- OS が UASP モードに対応している (Windows 11/10/8.1)

※2022年 3月現在、Windows OS で UASP モードに対応しているのは Windows 11/10/8.1 のみになります。

Windows 7 で UASP モードを使用する場合は、チップセットメーカーが提供する UASP モード対応ドライバをインストールする必要があります。

※マザーボードのチップセット対応及びドライバ提供はご使用のマザーボードメーカーにお問い合わせください。

※メーカー PC をお使いの方は各メーカーにお問い合わせください。

※転送速度の違い HDD/SSD では UASP モードを使用しても転送速度が変わらない場合があります。

ディスク署名の競合

● ディスク署名について

クローン元の HDD/SSD とクローンモードで複製した HDD/SSD をパソコンに接続した場合、同じデータが書き込まれた HDD/SSD が 2 台パソコンに認識されますが、ディスク署名が競合するため、1 台の HDD/SSD しか使用できません。

他の用途で 2 台同時に HDD/SSD を使用したい場合は、「ディスクの管理」から「オフライン」状態の HDD を「オンライン」に変更するか、管理者権限のコマンドプロンプトから「Microsoft diskpart」を起動し、ディスク署名を変更してください。

USB3.1 Gen1 の使用条件

USB3.1 Gen1 Super-Speed で周辺機器を使用するためには、パソコン、USB ケーブル、USB ハブ、USB 機器などすべての環境が USB3.1 Gen1 に対応している必要があります。

パソコンから USB 機器の間へ USB1.1 (Full-Speed, Low-Speed) /USB2.0(High-Speed) の環境を接続しますと、すべて USB1.1/USB2.0 で動作いたします。

パソコン、USB ケーブル、USB ハブが USB3.1 Gen1 に対応している状態で、周辺機器が USB 2.0 と USB3.1 Gen1 機器が混在して接続されている場合は、USB2.0 及び USB3.1 Gen1 の各モードで動作します。

※USB 3.1 Gen1 とは、USB3.0 がアップデートに伴い、表記が USB 3.1 Gen1 と変更となりました。USB (Universal Serial Bus) は、これまで USB 1.0、USB1.1、USB2.0、USB 3.1 Gen1 (USB3.0) が登場し、2013 年 8 月に USB-IF により新たな規格「USB3.1」は誕生しました。USB3.1 は、これまでの USB 機器をそのまま使用することが可能です。

製品仕様

対応OS	Windows 11、10、8.1、7、macOS(10.9以降)	
対応環境	USB3.1 Gen1または、USB2.0接続端子搭載パソコン	
対応ドライブ	シリアルATA接続の2.5インチSSD、 2.5/3.5インチHDD(最大16TB) SATA III (6Gbps) / II (3Gbps) / I (1.5Gbps)	
接続可能HDD/SSD数	最大2台	
本体モード	パソコン認識モード	NORMALモード
	複製モード	CLONEモード
	イレース(抹消)モード	ALL-0モード、RANDOMモード、SECUREモード
電源	ACアダプタ (12V/4A)	
サイズ	幅113mm×高58mm×奥100mm (突起部除く)	
重量	約290g (本体のみ)	
梱包内容	製品本体、USBケーブル、ACアダプタ、 USB Type-C変換アダプタ、マニュアル	
保証期間	ご購入から12ヵ月	

よくあるご質問 Q&A

- Q. クローンモードが開始されません。
- A. 本製品のクローン機能は「小さい容量のHDD/SSDから大きい容量のHDD/SSD」のみが可能です。必ず「HDD2」スロット(クローン先)には「HDD1」スロット(クローン元)より大きい容量のHDD/SSDをご利用ください。
- Q. TVへの接続はできますか？
- A. 弊社ではレグザ「43J10X」で認識及び録画確認しております。レコーダー及びその他テレビでの検証は行っておりませんので、動作保証は行っておりません。
- Q. 3TB～16TBで使用することは可能ですか？
- A. 本製品で利用できるHDDの容量は16TBまでです。
- Q. スリープ機能はありますか？
- A. 非アクセス時10分間でスリープモードに入り、HDDの回転が止まります。
- Q. PCの電源を切ってどれぐらいの時間でHDDの回転は止まりますか？
- A. 即座にHDDの回転は止まります。
- Q. MacでフォーマットしたHDDをWindowsで開けません。
- A. フォーマット形式をFAT形式にしてください。(MS-DOSファイルシステム)

保証書

製品型番： AOK-ERASECLONE-U32シリーズ

保証期間： お買い上げ日 年 月 日 から 12 カ月

フリガナ -----

お客様名： 様

〒

住所：

電話番号： - - E-mail：

販売店名・住所・電話番号・（販売店印もしくは販売店レシート）



保証規約

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。

保証期間内にお客様の正常なご使用状態で万が一故障した場合には、本保証書記載の保証規定に従い、修理を実施いたしますので、お買い求めの販売店様に本保証書を添えてお申し出ください。

保証期間内につきましては無料で修理いたします。尚、やむを得ず郵送を必要とされる場合には、販売店様までの送料をご負担頂くようお願い申し上げます。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※本保証書は日本国内においてのみ有効となります。

保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。

- ・本保証書をご提示されない場合
- ・本保証書の所定の事項の未記入、字句を訂正されたもの及び販売店・社印または社名の未記入、販売店レシートのない場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障及び損傷
- ・使用者側での輸送、移動時の落下など、お取り扱いが不適切なため生じた故障及び損傷
- ・説明書に記載の使用方法及び注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障及び損傷
- ・改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障及び損傷
- ・他の機器との接続が原因で本製品に生じた故障及び損傷

※本製品の故障またはその使用中に生じた直接または間接の損害（データ損失を含む）につきましては弊社はその責を負いません。

株式会社アイティプロテック

住所：千葉県柏市青葉台2丁目18-12

サポートお問合せ窓口

製品のサポートやお問い合わせにつきましては下記メールアドレスまでお寄せください。

support@atech.jp